

参考資料

サステナビリティの取り組み

2026年2月19日
エスペック株式会社

エスペックのサステナビリティについて

当社は企業理念「THE ESPEC MIND」のもと
環境創造技術をかなめとした事業で社会や環境の
課題解決に貢献し、持続的な成長を目指しています。

企業理念

創業当時から伝わるエスペックの大切な価値観

企業理念「THE ESPEC MIND」(抜粋)

起 点

社会の公器として、
すべてのステークホルダーとより良い価値交換を目指す

使 命

環境創造技術でより確かな生環境を提供

ス タ イ ル

プログレッシブ(進取的な)、リライアブル、オープン、フェア

宣 言

社会に約束すること「遵法」「文化」「人権」「環境」「啓発」

サステナビリティ方針とマテリアリティ

持続的成長に向けて、サステナビリティ方針を策定し、「社会的価値」「経済的価値」を創出して
いくために取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を特定

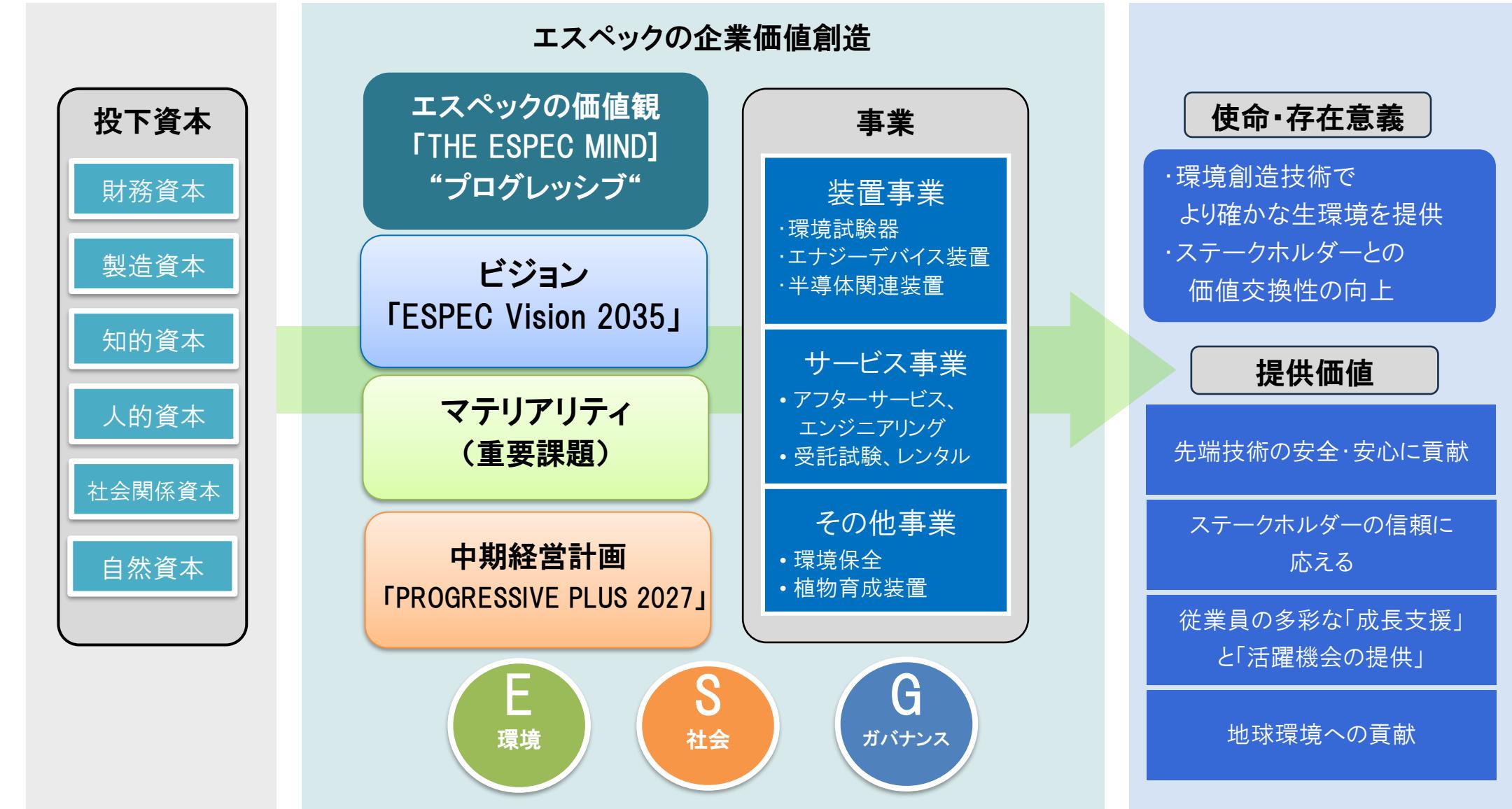
サステナビリティ方針

- 企業理念「THE ESPEC MIND」の実践により、「社会的価値」と「経済的価値」の創出と向上を図ります
- ステークホルダーとのより良い価値交換により持続的成長を目指します
- ESPEC Vision 2025のもと、「環境創造技術」をかなめとした事業活動を通じて地球環境や社会課題の解決に貢献します
- サステナビリティに関する情報開示を積極的に行います

マテリアリティ

- | | |
|---------------------|---------------|
| ・グローバルな事業を通じた社会課題解決 | ・多様な人材の確保・育成 |
| ・責任ある製品サービスの提供 | ・人権の尊重 |
| ・環境への配慮 | ・デジタル技術の活用 |
| | ・グループガバナンスの強化 |

企業価値創造プロセス



装置事業

環境創造技術を駆使した製品・サービスの提供による先端技術の発展への貢献

・社会・環境課題の解決に向けた先端技術の開発に貢献する製品、サービスの提供

●環境試験器

温度や湿度などの環境因子を人工的に再現し、製品の信頼性を確保する環境試験器を提供

●エナジーデバイス装置

電気自動車(EV)などに搭載される二次電池や燃料電池の評価装置を提供

●半導体関連装置

半導体の検査用バーンイン装置や計測評価システムなどを提供



恒温恒湿器
プラチナスJシリーズ



自動車が一台入る
実車試験装置



半導体検査用
バーンインチャンバー



二次電池用
充放電評価装置

サービス事業

環境創造技術を駆使した製品・サービスの提供による先端技術の発展への貢献
・社会・環境課題の解決に向けた先端技術の開発に貢献する製品、サービスの提供

●アフターサービス・エンジニアリング

お客様が安心して装置をお使いいただけるよう製品のメンテナンスや予防保全を実施

●受託試験サービス

環境試験で培った技術と試験ノウハウで受託試験サービスを提供



ITを活用したテクニカルサポート



国連規則など二次電池の各種安全性試験に対応
バッテリー安全認証センター

エスペックの事業

環境保全事業

生物多様性保全への貢献

生物多様性やCO₂の固定化に貢献する「森づくり」のほか、自然の河川を取り戻す「水辺づくり」、在来種による「草地づくり」など自然環境を復元する環境保全事業



仙台市輪王寺参道の
復元された森



東京都 隅田川テラスにおける
水辺づくり

植物育成装置事業

地球温暖化や異常気象に対応した 食の安定供給への貢献

温度や光などを制御し、効率的に野菜を生産できる植物工場や研究用装置のほか、水や養分を循環させて野菜と魚と一緒に育成するアクアポニックスなどのシステムも提供



海洋深層水を利用した植物工場
ミネラル豊富な野菜を生産・販売



乾燥地植物気候変動応答実験設備
(鳥取大学 乾燥地研究センター)

環境・エネルギー問題の解決に貢献する製品・サービス

■ 二次電池や燃料電池、太陽電池、パワーデバイスの性能や耐久性を評価する製品群



二次電池用 充放電評価装置



燃料電池用 環境試験装置



太陽電池モジュール用
温度サイクル試験システム



パワーデバイス用
パワーサイクル試験装置

■ 車載用二次電池の安全性に関する国連規則に適合した「バッテリー安全認証センター」

- ・2014年10月、第三者認証機関テュフズードジャパン(株)と業務提携
- ・2015年9月、栃木県宇都宮市に開設、2025年2月には愛知県常滑市にも開設



とちぎバッテリー安全認証センター
(栃木県宇都宮市)

■ 再生可能エネルギー100%による受託試験サービス(国内)

環境目標・環境中期計画

2030年度 環境目標

温室効果ガス排出量(2019年度比)

SCOPE 1+2(自社排出) 60%削減、SCOPE 3(間接排出) 30%削減

■2023年7月、国際的なSBTイニシアチブ※より「SBT(Science Based Targets)」認定を取得

※SBTイニシアチブ

パリ協定の目標達成に向け、企業に対して科学的な根拠に基づいた温室効果ガス排出量の削減目標の設定を推進している国際的なイニシアチブ。

CDP、UNGC(国連グローバル・コンパクト)、WRI(世界資源研究所)、WWF(世界自然保護基金)が共同で運営



第8次環境中期計画(2022年度～2025年度)

基本方針「グリーンテクノロジーを開発されているお客さまへの事業を通じた貢献」

地球温暖化対策および生物多様性保全を中心に取り組みを強化

<2025年度 目標>

- ・温室効果ガス排出量(2019年度比) SCOPE 1+2 55%削減、SCOPE 3 10%削減
- ・エスペックミック植樹本数50,000本・CO₂固定貢献95t(累計)
- ・兵庫県三田市「エスペック50年の森」運営による生物多様性保全活動

生物多様性保全の取り組み①

生物多様性保全活動の拠点 神戸R&Dセンター 「エスペックバンビの里」が環境省「自然共生サイト」認定

- ・社員が約3万本の在来種を植樹し育てた森や、六甲北部の在来種を用いた技術開発棟の屋上緑地、2つの池と小川からなるビオトープを設置
- ・2023年10月、環境省「自然共生サイト」に認定され、2024年8月、OECM※として国際データベースに登録



全国みどりの工場大賞
National Award for Greenery Factory

経産省「全国みどりの工場大賞」
2024年度「経済産業大臣賞」を受賞



2025年度 いきもの共生事業推進協議会
「いきもの共生事業所(ABINC)認証」を更新

※OECM (Other Effective area based Conservation Measures): 保護地域以外で生物多様性保全に資する地域

生物多様性保全の取り組み②

生物多様性保全活動「エスペック50年の森」

- ・2022年11月、兵庫県三田市にて林野庁「法人の森林」制度を活用した森づくりを開始
- ・2024年4月までに全3回の植樹祭を開催
- ・2年間で社員などのべ約400名が参加、計12,000本を植樹



第3回植樹祭
苗は炭素固定・生物多様性機能をふまえて選定

エスペック地球環境研究・技術基金

- ・地球環境保全に関する研究・技術開発に対して毎年資金援助を実施
- ・1997年設立から27年間で、計344団体に総額1億7,391万円を助成



第28回授与式

人的資本の最大化に向けた取り組み

企业文化の良質化/組織マネジメント

- ラウンドアップ研修会、ダイレクトコミュニケーション、全社イベント、1on1ミーティング、さん付け呼称
- エンゲージメント調査、人材アセスメント、360°サーベイ
- チャレンジを生み出す評価制度

会 社

- 多彩な成長支援
- 活躍機会の提供

経営戦略と連動した人材育成

- 次世代経営幹部の育成
- グローバル人材
- DX人材、デジタル人材

個の成長支援

- キャリア研修 •語学学習支援
- リカレント教育 •通信教育

従業員

- 自律的な成長
- 働きがい

企業価値の向上

成長の喜びをシェア
従業員と経営が一体化し
活気にあふれている

ダイバーシティ&インクルージョン 社員の健康と安全の確保

- 女性社員、シニア社員活躍推進
- 健康増進、メンタルヘルスケア
- 障がい者雇用率の向上
- 人権、ハラスメント教育

社会貢献活動

従業員参加型の寄付制度 「エスペックススマイルクラブ」

- ・従業員の寄付金に会社が寄付金を上乗せするマッチングギフト制度を活用し、子供と医療関係の社会貢献活動を行う団体に寄付
- ・2025年4月、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの「パレスチナ・ガザ地区 緊急子供支援」と、「2024年能登半島地震 緊急子ども支援」に総額907,700円を寄付



障がい者就労農園の収穫野菜を 子ども食堂に寄付

- ・障がい者就労農園「エスペックススマイルファーム」※で収穫した野菜を地域の子ども食堂へ定期的に寄付

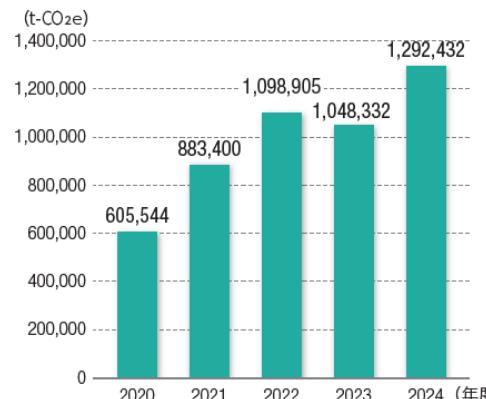
※2021年11月、障がい者雇用支援会社が運営する貸農園内に開設。
障がいのある方3名と管理業務を行う1名、計4名を採用



非財務データ①

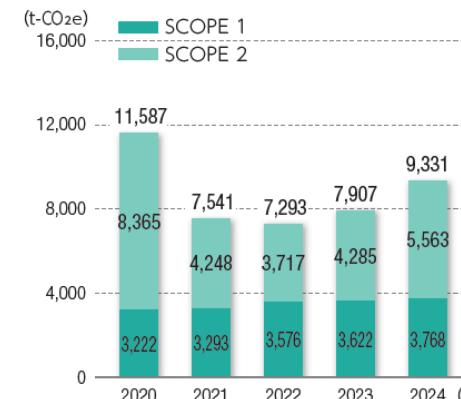
温室効果ガス排出量

SCOPE 1+2+3合計(連結*)



温室効果ガス排出量

SCOPE 1+2(自社排出)(連結*)



排出物総量(単体)



* 2023年度は、2023年8月から連結対象となったコスマピアハイテック株式会社を除く

環境社会検定試験(eco検定)

資格取得率(単体)

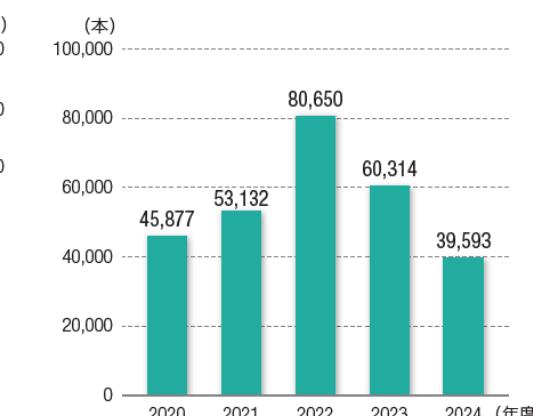


エスペック地球環境研究・

技術基金による助成



環境保全事業による植樹本数

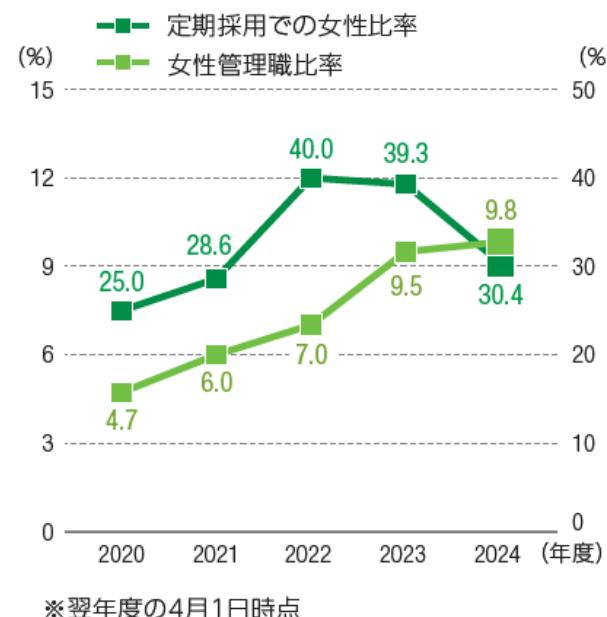


*エスペックミック株式会社 実績

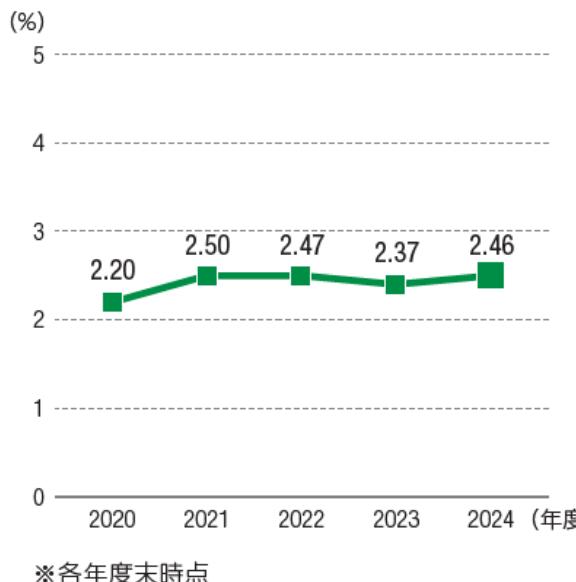
非財務データ②

女性管理職比率

定期採用での女性比率(単体)



障がい者雇用率(単体)



労働災害度数率※(単体)



非財務データ③

(年度)		2020	2021	2022	2023	2024
従業員数 ^{*1} (連結)		1,526名	1,628名	1,691名	1,775名	1,860名
従業員数 ^{*1} (単体)	男性	658名	643名	636名	633名	663名
	女性	122名	127名	142名	157名	175名
	合計	780名	770名	778名	790名	838名
平均勤続年数(単体)		19.2年	19.1年	17.2年	17.0年	15.3年
平均年齢(単体)		43.1才	43.0才	41.2才	41.4才	40.3才
離職率 ^{*2} (単体)		2.3%	1.6%	1.4%	3.3%	2.3%
平均残業時間(単体)		11.0時間	15.5時間	22.6時間	20.1時間	21.9時間
年次有給休暇取得率(単体)		65.8%	69.1%	75.1%	74.3%	77.8%
男女の平均賃金の差異(単体)		—	—	70.3%	72.5%	73.5%
育児休業取得率(単体)	男性	12.5%	30.8%	13.3%	52.9%	56.0%
	女性	100%	100%	100%	100%	100%
教育投資額(単体)		—	—	101百万円	129百万円	135百万円
労働災害件数(不休災害を除く)(単体)		0件	2件	0件	1件	0件
取締役会 ^{*3} (単体)	独立社外比率 ^{*4}	25%	25%	40%	40%	40%
	女性比率 ^{*4}	0%	0%	20%	20%	20%
内部通報件数(単体)		0件	0件	0件	1件	0件
コンプライアンス問題の発生件数(単体)		2件	1件	3件	2件	2件

※1 各年度末時点

※2 定年退職者を除く

※3 2022年6月、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行

※4 各年度6月末時点

社外からの評価

■ ESG関連の評価

- ・ESG指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」組み入れ
- ・ESG指数「S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数」組み入れ
- ・CDP 気候変動分野の調査で6年連続「Bスコア」、水セキュリティは2年連続「B-スコア」
「サプライヤーエンゲージメント評価」では、3年連続最高評価の
「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定
- ・英フィナンシャル・タイムズ、独調査会社スタティスタ
「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に2年連続で選定
- ・日本経済新聞社「日経サステナブル総合調査 SDGs経営編」3.5星
- ・日本経済新聞社「日経サステナブル総合調査 スマートワーク経営編」3つ星
- ・神戸R&Dセンターが全国みどりの工場大賞「経済産業大臣賞」受賞
- ・厚生労働大臣より「子育てサポート企業」として「プラチナくるみん」取得
- ・大阪市「女性活躍リーディングカンパニー」認証にて
「三つ星認証」「イクメン推進企業認証」取得



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



S&P/JPX
カーボン
エフィシェント
指標



CDP
Discloser
2025



Supplier
Engagement
Leader
CDP
2024



NIKKEI
Smart Work
★★★ 2026



全国みどりの工場大賞
National Award for Greenery Factory



プラチナくるみん
子育てサポートしています



女性活躍リーディングカンパニー
2024 大阪市認証



Gomez
IR Site
Ranking
IRサイト総合ランキング
銀賞
2025年



Internet IR
優良賞
2025
Daiwa Investor Relations



企業ホームページ
最優秀サイト
2025
日興アイ・アール
総合部門

【お問い合わせ先】

エスペック株式会社

サステナビリティ推進部 IR・広報グループ

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795

e-mail ir-div@espec.jp